

平成 24 年度エイズ対策研究推進事業研究成果等普及啓発事業

“AIDS” GOES ON...

続いているから続けていく

～コミュニティ・研究者・行政、連携のこれまでとこれから～

エイズの流行は続いています。その現実を直視することができれば、HIV 陽性者が安心して社会生活を維持していくための条件を整え、その支援を新たな HIV 感染の予防につなげる枠組みを整えていくことが可能になります。

横浜は 1994 年に第 10 回国際エイズ会議が開かれた都市であり、この会議をきっかけに生まれた AIDS 文化フォーラム in 横浜は来年、20 回の節目を迎えます。

コミュニティ・研究者・行政の貴重な連携事例というべき AIDS 文化フォーラムの経験を踏まえ、「継続」をキーワードにこれからの可能性をさぐっていきましょう。

日時：2012 年 11 月 26 日（月） 13:15 ～ 15:15 【開場 13:10】

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス（横浜市港北区）第 4 校舎 B 棟
（東急東横線、東急目黒線 / 横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅下車 徒歩 1分）

入場：無料

主催：公益財団法人エイズ予防財団 電話 03-5259-1811

<http://www.jfap.or.jp/>

本事業は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」（研究代表者 白阪琢磨）の分担研究「HIV 陽性者ケア等に関する NPO/NGO の連携に関する研究」（研究担当者 中村正）の協力により、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会 公開講座として、広く一般に公開する形で開催します。

プログラム

開場 13:10

基調講演

13:15 ~ 13:55

「連携はなぜ必要か ~ AIDS 文化フォーラムの 20 年」

岩室紳也 公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター
AIDS 文化フォーラム in 横浜 運営委員

シンポジウム

13:55 ~ 14:00

座長 池上千寿子 特定非営利活動法人ぷれいす東京
宮田一雄 産経新聞東京本社

14:00 ~ 14:15

「エイズ医療体制とコミュニティ」

白阪琢磨 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

14:15 ~ 14:30

「セクシャルマイノリティ支援と HIV/ エイズ」

星野慎二 特定非営利活動法人 SHIP

14:30 ~ 14:45

「エイズ NGO の現状と課題」

高久陽介 特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

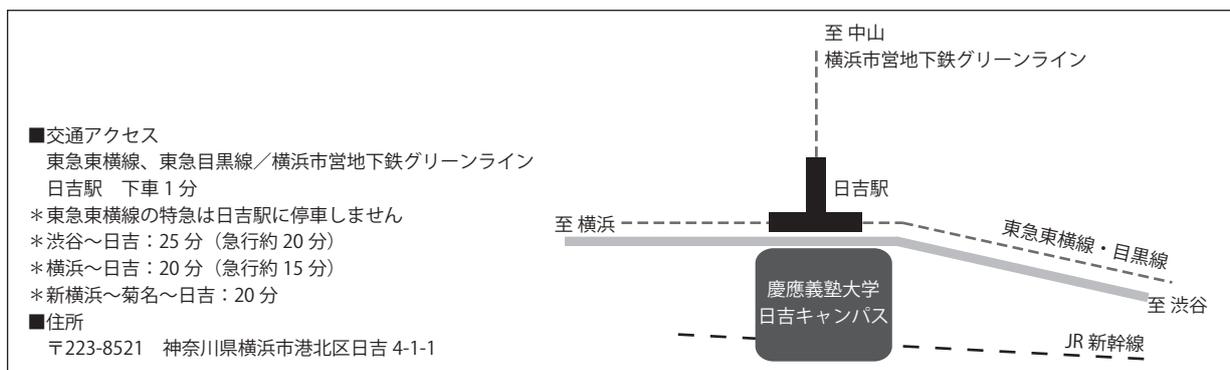
14:45 ~ 14:55

「連携事例としてのテーマ選定プロセス」

堀内由紀 公益財団法人エイズ予防財団

討論

14:55 ~ 15:15 出席者全員



お問い合わせ先

公益財団法人エイズ予防財団（担当：永井・川島）

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1-3-12 水道橋ビル 5階 TEL 03-5259-1811 / FAX 03-5259-1812

<http://www.jfap.or.jp/>